

推進方針

一人ひとりに役割と居場所があるまちづくり

将来像

基本目標

基本的方向／主な事業

幸せが実感できる共生のまち長久手

(第6次総合計画と同じ)

基本目標1

役割・しごとづくり「誰もが活躍できる役割・しごとをつくる」

市民一人ひとりが、「役割」と「居場所」を持ち、誰もが「必要とされている」ことが実感できる幸福度の高いまちを目指し、地域で活躍できる体制や仕組みづくりを推進します。

《数値目標》

数値目標	基準値	目標値
地域で「たつせがある」*と思う人の割合	33.4% (概ね3人に1人の割合) 2019(令和元)年	50% (概ね2人に1人の割合) 2024(令和6)年

*「たつせがある」とは、「立つ瀬がない」の対義語で、「だれもが役割を担い、活躍し、必要とされ、生きがいを持って楽しく過ごすことができる」ことを表した長久手市の造語です。

基本目標2

子育て支援「子どもを通じて家族と地域の輪が広がるまちをつくる」

保育サービスや教育環境の充実を進めるとともに、身近な地域で支え合う多様な視点に立った子育てしやすいまちづくりを進めます。

《数値目標》

数値目標	基準値	目標値
合計特殊出生率	1.55 2012(平成24)年	1.6 2024(令和6)年
安心して子どもを生み、育てることができるまちだと思える人の割合	58.8% (概ね5人に3人の割合) 2019(令和元)年	65% (概ね3人に2人の割合) 2024(令和6)年

基本目標3

地域コミュニティ・地域福祉
「地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる」

市民が自ら地域の課題を解決する力を身につけ、さらにはコミュニティの活性化を図ることにより、市民同士の生活支援につながる取組を進めます。また、市民が元気に暮らし続けられるよう、高齢者の生きがいづくりや外出の促進等に取り組みます。

《数値目標》

数値目標	基準値	目標値
地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合	18.9% (概ね5人に1人の割合) 2019(令和元)年	35% (概ね3人に1人の割合) 2024(令和6)年
健康寿命	男性 80.2歳 女性 85.0歳 2015(平成27)年	延伸 2024(令和6)年

基本目標4

観光交流「地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる」

本市の観光資源を活かし、市民が快適に楽しく暮らし、自らが住む地域に誇りを持ち、市民と来訪者が心豊かに交流する居心地の良いまちづくりを進めます。

《数値目標》

数値目標	基準値	目標値
観光交流者数	約340万人 2018(平成30)年	約370万人 2024(令和6)年
地域における自慢すべき「宝」があると思える人の割合	42.7% (概ね5人に2人の割合) 2019(令和元)年	50% (概ね2人に1人の割合) 2024(令和6)年

ア 市民の力を活かした新しい役割分担の仕組みをつくる

- ・ながくて地域スマイルポイント事業
- ・まちづくり活動補助事業
- ・まちづくりセンター機能強化事業
- ・学生まちづくり活動支援事業

イ 「農ある暮らし」で好循環をつくる

- ・アグリサポートセンター事業
- ・農福連携事業
- ・あぐりん村再整備事業

ウ 民間活力をまちづくりに活かす

- ・住民起業支援塾事業
- ・女性活躍推進事業
- ・市民・民間・行政のプラットフォーム形成事業

ア 子育てしやすい環境の整備

- ・子ども預かり事業
- ・女性活躍推進事業(再掲)

イ 地域で支え合う子育て支援

- ・保育園児童館等地域交流事業
- ・子どもチャレンジ事業

ア 市民が支え合うコミュニティをつくる

- ・まちづくり協議会設立運営支援事業
- ・多文化共生社会事業
- ・国際交流協会支援事業
- ・防災士育成事業
- ・自主防災活動支援事業

イ 市民の健康寿命を延ばす

- ・公共交通ネットワーク構築事業

ア 地域資源を活かした長久手の魅力とオリジナリティを創造・発信する

- ・観光交流協会支援事業
- ・アートのまちフェスティバル事業
- ・長久手版プレーパーク整備事業
- ・古民家活用事業

イ 人が集まり情報の受発信が行われる交流の場の創造

- ・リニモテラスにぎわい創出事業